



西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

9月号



【国語科の授業改善シリーズ 番外編】
日々の授業を通して条件に沿って書く力を付ける!

全国学力・学習状況調査結果から考える
「割合」に関する指導のポイント!

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
ネット上のいじめ対応
～情報モラル教育の充実とルールの徹底について～

【西部地域開催】
鳥取県エキスパート認定教員による公開授業の御案内

国語科のみならず各教科等において、自由に記述する学習活動は比較的多いと思われます。自由記述には、子供たちが束縛されることなく豊かに表現できる良さがあります。一方で、情報化の進む現代社会においては、適切な付与条件に即応し、短時間に読み、短時間で記述することが求められます。自由な記述と厳密な規定・条件等に即応した記述とを区別した指導が必要です。



自由な記述ばかりではなく、条件をつけて書くようにしてみませんか？



まとめ・振り返り



日記



作品のコメント欄



記録カード



テスト等の記述問題

条件を検討する際、次のような観点が考えられます。

時間／字数／文章の形態や種類／事象・グラフ・図・式等との関連／文体（常体・敬体・一人称・三人称等）／テーマ／対象／使用語彙／要約／引用／事例／技法（反復・倒置・比喻・反語等）／構成（頭括型・尾括型・双括型、現在→過去→現在）等

参考文献：樺山 敏朗（2022）.『読解×記述』.教育出版株式会社

条件を設定した他教科での学習活動の例

例1 本時のまとめを書く（小学校第5学年 理科 「流れる水のはたらき」）

【めあて】上流と下流で見られる石の大きさや形がちがうわけを、流れる水のはたらきと関係づけて説明しよう。

【まとめを書く際の条件】

- ①流れる水のはたらきと関係づけて書くこと。
- ②「浸食」「堆積」「運搬」のうちから適切なものを1つ選び、文章の中で使うこと。
- ③60字以上120字以内で書くこと。

【まとめの記述例】

上流にある石は大きくて角ばっているが、中流、下流へと運搬されるときに、流れる水の働きによって割れたり削られたりするため、下流にある石は小さくて丸い。

例2 観察カードを書く（小学校第2学年 生活科 「やさいをそだてよう」）

【観察カードを書く際の条件】

- ①「葉」「茎」「つぼみ」「花」のうち、1つを選んで書く。
- ②前回観察したときと変わったところが分かるように書く。（大きさ・太さ・数・色・形・においなど）
- ③様子を表す言葉（ぎざぎざ・べとべと・つるつるなど）を使う。

【観察カードの記述例】

ミニトマトのはっぱが3まいふえました。はっぱのぎざぎざが大きくなりました。さわるとちくちくしました。小さいはっぱはきみどり色で、大きいはっぱはこゆいみどり色です。はっぱがもっとふえてほしいです。



記述量や記述にかける時間制限に一定の負荷を求めつつ、目的に応じて記述した結果が必要な要素（内容や形式）を具備しているか、他者が理解できるか否かなどを、学習者自身が主体的に問い直し、問い続けられるように働きかけることが重要です。



条件があると一見不自由なようですが、場面や内容を限定されることから、何を書けばよいか分からない子供にとっては有効な支援となります。さらに、目的や条件を踏まえた記述になっているかどうかという視点をもとに、他者から適切なフィードバックや評価を受けることが可能になります。

今年度の全国学力・学習状況調査の結果において課題の見られた小学校算数の「割合」に関する指導改善のポイントについてご紹介します。今後の指導の参考にしてください。



2 (2)

令和4年度全国学力・学習状況調査問題

2 (3)

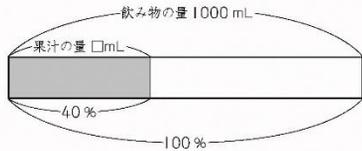
(2) オレンジの果汁が40%ふくまれている飲み物があります。この飲み物1000mLには、果汁が何mL入っていますか。答えを書きましょう。



正答率

全国	64.6%
鳥取県	59.2% (-5.4)

正答 400mL



※250mLや25mLと解答した児童の割合が全国より多かった。

(3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。

正答率

全国	21.4%
鳥取県	17.1% (-4.3)



500mL
果汁20%



250mL 250mL

250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

上のアにあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。 ※約7割の児童が「1」と解答。
- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。 **正答**

解答類型の結果から考えると…

- ◆基準量、比較量、割合の関係を捉えることができていない。
- ◆「割合」の意味が十分に理解できていない。



そもそも「割合」の意味って何だろう?



「割合」は、2つの量を比べるときに用いられるもので、ある量をもとにして、他方の量がその何倍にあたるかを表した数です。

【授業改善のポイントと活動例】

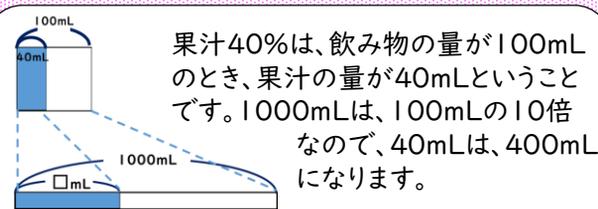
「図や表」「数や式」を相互に関連付けて、割合について理解できるようにしましょう。

※言葉の式だけでなく、自分にとって分かりやすい図をかいて数量の関係を捉えるようにする。

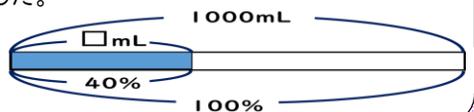
日常の具体的な場面に対応させて割合を捉えるようにしましょう。

※生活経験を想起し、割合が何を表しているか理解できるようにする。

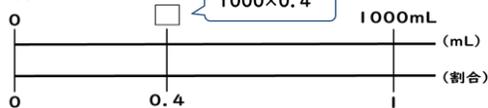
飲み物の量や割合の関係を図に表してみましょう。



もとにする量とくらべる量と割合の関係を、一つの図に表しました。



もとにする量とくらべる量と割合の関係を、数直線に表しました。



ジュースを半分に分けても、味は変わらないな。



500mL
果汁20%



250mL 250mL

割合は何を表しているのかな?

割合は、飲み物の濃さを表しています。

濃さは変わらないから割合も変わらないね。

本当に割合は変わらないのか計算して確かめてみましょう。

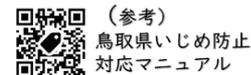
飲み物の量が半分になると、果汁の量も半分になります。割合を計算で求めると、分ける前後では割合が変わらないことが分かります。



飲み物の量 250mL 250mL
果汁の量 50mL 50mL
割合を求める式
 $50 \div 250 = 0.2$
果汁20%

ネット上のいじめ対応～情報モラル教育の充実とルールの徹底について～

近年、ネット上のいじめ、トラブルが増加しています。不特定多数の人がその情報を見聞きすることができるため、被害が拡大し、学校、保護者だけでは解決が困難な事例が多いのが現状です。



子どもを『ネット上のいじめ』から守るための4つの提案

- (1) 理解促進・実態把握
- (2) 情報モラル教育の充実とルールの徹底
- (3) 未然防止・早期発見・早期対応
- (4) いじめられた子ども等へのケア

(参考) 文部科学省 子どもを守り育てる体制づくりのための有識者会議まとめ【第2次】

ネット上のいじめ対応について、本号では(2) **情報モラル教育の充実とルールの徹底**について、次号で(3) 未然防止・早期発見・早期対応についての情報をお伝えします。



「情報モラル」についてしっかりと教え、子どもたちにネットのリスク回避能力を身につけさせるとともに、主体的にルールを守ることができるようにしましょう！

インターネットの特殊性について正しい理解を促す。

児童・生徒
に向けて

保護者
に向けて

家庭で行うリスク回避の重要性について伝える。

【インターネットの特殊性】

- 発信した情報は、多くの人にすぐに広まること。
- 匿名で書き込みをしたとしても、人は特定できること。
- 違法情報や有害情報が含まれていること。
- 書き込みが原因で、思わぬトラブルを招き、別の犯罪につながる可能性があり、時には、自死を招く場合もあること。
- 一度流出した情報やデータは、簡単には削除できないこと。等



【家庭でできるリスク回避】

- インターネットへのアクセスは「トラブルの入り口に立っている」という認識や、知らぬ間に利用者の個人情報流出するといったトラブルが起こりうるという認識を持つこと。
- 子どものスマートフォン等を第一義的に管理するのは家庭であり、ルール作り等を行うこと。
- 子どもの表情等、小さな変化に気づけば、躊躇無く問いかけ、即座に学校へ相談すること。等

安易な書き込みで、簡単に被害者にも加害者にもなってしまふんだな。

ネット上でのトラブルは、大人が知らない子どもたちだけの見えにくい世界で起こるため、**児童生徒が自分自身で判断し行動できる力を全ての教育活動を通して、家庭と連携しながら育てていくことが重要**です。

我が子をネットいじめから守るためには、ルールが必要だな。



公開授業の御案内

チャンス!



優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野

「中学校 社会」

米子市立東山中学校

米子市車尾617番地

●授業者

山下 欣浩 教諭

- 開催時間【受付】 10:20~10:45
【公開授業】10:55~11:45
【研究協議】11:55~12:45

- 授業内容【单元名】第3学年
「現代社会の見方・考え方(国家間の対立を合意に結びつけるために~北方領土問題を考える~)」
※北方領土問題の解決に向けて、日ロ両国が納得できる提案を学習班で考える。
※ChromeBookを利用した授業(ICTの効果的な活用を目指した授業)を行う。
※個別最適な学びについて授業提案を行う。

授業日

9月6日
(火)

8月29日(月)
申し込み
締め切り

認定分野

「中学校 美術」

境港市立第一中学校

境港市上道町1840番地

●授業者

岩成 昭則 教諭

- 開催時間【受付】 14:15~14:45
【公開授業】14:45~15:35
【研究協議】15:45~16:45

- 授業内容【单元名】第1学年
「文字で伝えよう」
※レタリングの基礎を習得するにとどまらず、オリジナルの書体を考え、使う場面に合わせて表現する力を育てる。
※全生徒の発想や表現をChromeBookで集約しながら、表現の発想を深める指導を行う。

授業日

9月8日
(木)

延期
となりました。

岩成教諭の公開授業は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、延期となりました。次回の授業公開日が決定しましたらお知らせいたします。

参加申込

★ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。

※開催案内とファクシミリ送信票は、各校へC4thで送付されています。

また、鳥取県教育センターホームページ【エキスパート教員授業案内】からダウンロードすることもできます。

※公開授業ごとに、締め切り日が異なりますので御注意ください。

鳥取県教育センターホームページからの参加申し込み方法



「エキスパート教員授業案内」をクリック!

- ①教育センタートップページを開く
- ②「エキスパート教員授業案内」をクリック!
- ③参観したい校種をクリック!
- ④一覧表に添付されている「ファクシミリ送信票」を開いて印刷
- ⑤必要事項を記入し、開催校の学校長宛にファクシミリで送付

☆感染症対策への御協力をお願いいたします。



※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催方法の変更又は中止、延期になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。